

愛寿会 たより

2月号
第104号
平成20年
2月1日発行



【 身曾岐神社 本殿
(北杜市小淵沢町) 】

みんなで利用者本位の施設を目指そう

私は、十年余り愛寿会の仕事に関わらせていただいています。その中で昨今特に感じていることについて、以下三点申し述べたいと思います。

仁生園・第二仁生園とも常にリード・オフ・マンでありたい。

“知る人ぞ知る”ですが、仁生園は県内に数ある民間特別養護老人ホーム中最も古い歴史を持つ施設です。同時にそのサービス内容の充実ぶりに、後発の特養施設はことごとく「仁生園に追い付け追い越せ」を合言葉にしたものです。

また、昨年スタートした第二仁生園は県内最初の障害者自立支援法での運営施設です。関係者がその成否に注目する所以です。

いうならば、仁生園、第二仁生園とも県内におけるこの種施設のパイオニアであり、リード・オフ・マンです。

私は、職員をはじめ愛寿会に関係するすべての皆様にこれらのことを改めてご認識いただき、日々精進、決して他の後塵を拝することのないように…と切に願っています。

「小事を疎(おろそ)かにする者は、必ず大事が疎(おろそ)かになる」

社会福祉法人 愛寿会

副理事長 小澤 澄夫

私が“よくぞ”と思っていることの一つは、仁生園・第二仁生園とも至るところ清潔であり、整理整頓されていること、また、すべての職員が入所者に対し家族のようにあたたかく接していることです。

小さなこと、つまらないようなこと、例えば、庭にゴミが落ちていれば拾う。廊下で入所者やそのご家族の方にお会いしたらニッコリ笑顔で会釈する。人にぶつかったら「失礼しました」、何かしてもらったら「ありがとう」といった類のことが私はすごく大切と思うのです。

「そんなことどうでもいいんだ。自分ほもっと高いことを考えているんだ。介護の仕事・障害者の自立支援の仕事…その理論も実践も我こそ第一人者」という人がいるとしても、そういう人に限って高いことはいい加減になり勝ちと思うのです。私は、小事を疎かにしない愛寿会の各施設であるよう願っています。

愛寿会のモットーと日常の心得(七つの誓い)は 私たちの憲法

特に、はい・すみません・ありがとう・おかげさま・どうしました・そうですね・させてください…この七つは片時も忘れないようにしたいと考えます。

私は、以上三点を守り実行していくことがすなわち利用者本位の施設づくりにつながっていく、みんなでそれを目指していきたい…そのように心から念願しています。

料金後納
郵便
差出人(差出発送代行)
7-4
佐川物流サービス(株)
返送先:〒140-0012
品川区勝島1-1-1
このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

— 愛寿会 新年互礼会 —

一月十一日(金)、仁生園会議室において「愛寿会・新年互礼会」が執り行なわれました。初めに板山理事長、小澤副理事長から年頭のご訓示をいただきました。

板山理事長からは、愛寿会役員及び職員が相互の親睦を図り連携を密にして行く中で、多くの施設利用者、並びに地域社会のみな様に、信頼され「選ばれ・愛される施設」として、清潔な生活環境の確保と充実したケアサービスの実現に向けて、一層の努力をして行くこと。

また、仁生園が八ヶ岳南麓に設立されて以来三十五周年を迎えた平成二十年の初頭に際し、「介護福祉施設を取り巻く社会情勢の厳しさ」「介護保険制度に対する社会的な関心の高まり」来年度以降に予想される「高齢者・障害者に対する介護保険制度等の見直し案の存在」などの情勢説明。

さらに、東京杉並区において理事長が経営される「浴風会」での取り組みの状況のご紹介など、介護を担う職員に対する業務改善策のご提言もいただきました。

続いて、小澤副理事長からは、平成十九年に開設した「第二仁生園」の設立に至るまでの困難であったその経緯、この施設の北巨摩地域での「存在の意義」また「施設の役割」などのご教示。



【 役職員一同気持ちを新たにしました 】

また、仁生園の伝統となっている「整理整頓」「挨拶」などの「基本的事項の励行に邁進せよ」とのご指導をいただきました。次に、一月一日付人事異動の発令がありました。愛寿会本部・根津事務局長の退任に伴い、中山真由美副園長が法人事務局長に就任いたしました。終わりに、「仁生園、介護・七つの誓い」を参加者全員で力強く朗唱し、その責任と使命の重さを再確認いたしました。

来園者のみな様へ

全国でノロウイルスによる感染症、インフルエンザ等が流行しております。

ご遠慮下さい

○風邪ぎみ・下痢・嘔吐・発熱の症状の方の来園はご遠慮下さい。

ご協力下さい

○玄関に消毒液を設置してあります。手指消毒にご協力下さい。

知っていますか

※ノロウイルスは感染力が非常に強く、集団生活の場では、一人の患者から感染が広がります。

※少量の(一〇個)のウイルスでも感染します。

※感染して十二〜二十四時間後に吐き気・嘔吐・腹痛・下痢・発熱の症状があります。

※発症してから二〜三日で回復しますが、高齢者は重症になることもあります。

愛寿会では、昨年にも増して、危機管理の徹底に努めておりますが、感染防止には来園されるみな様のご協力が不可欠です。是非、ご理解・ご協力をお願いいたします。

園長 清水久雄

） 社会福祉士現場実習 ）

実習を終えて

小泉 浩一

十二日という短い期間でしたが、利用者と同じ空間に同じ目線で座り、利用者の生活の場で、自分のありのままを日々実現していることを肌で感じる事ができ、大変貴重な実習になりました。また、地域の小学校、高校との連携、レントゲン撮影、防災訓練等に参加するなかで、長年の福祉サービスの努力の積み重ねが利用者の生活に安心と安全をもたらしているのだと実感できました。

運営方針にある三つのモットーと日常の心得（七つの誓い）は社会福祉に携わるものにとって共通なもので、とくに利用者本位のサービスの実践について、職員のみな様が試行錯誤している様子を伺い、私自身も考え続けていこうという思いを強く感じ、毎日の業務に慣れてマンネリ化せず、新しい目的意識や課題をもちながら仕事を続けていこうと再認識できました。

何もわからないのに、自分勝手に行動させていたで大変ご迷惑をおかけしたと思いますが、得られたものは多く、受け入れてくださった利用者、施設職員のみな様に感謝いたします。

ありがとうございました。

） 優和福祉専門学校 ）

実習生のみな様から ）

ありがとう

実習生 森 欣也

介護実習期間中の出来事です。ある利用者さんの入浴介護を終え、車椅子で移動しているとき、私の右手を力いっぱい握りしめ「ありがとう」と言われました。私は涙が出る程、感動しました。それは、今まで生きてきた中でいろんな想いが込められた「ありがとう」だと思ったからです。

施設実習を終えて

実習生 斉木直子

今回実習させていただいた三階の利用者様は、ほとんどの方が自立し、お元気なことにびっくりしました。レクリエーション活動も充実していて、絵手紙・習字・コーラス等、参加でき楽しく実習させていただきました。

利用者様の笑顔を見ると心は和み気持ち落ちました。これからも沢山の笑顔と笑いの絶えない施設であって欲しいと思いました。

職員の方々には、様々なことを指導していただき大変勉強になりました。ありがとうございました。

） 第二仁生園 初詣 ）

オープンして初めてのお正月。

一月三日（木）に午前と午後に分かれ、身曾岐神社に初詣に出かけました。

当日は少々寒かったですが、晴天に恵まれ、おみくじを引き大吉に喜んでいる人や破魔矢を買った人、神妙に神社の前で願い事をしてる人など、それぞれの初詣を楽しまれました。

その後はお楽しみみの出店。各自お小遣いで、たこ焼きや大判焼きを買っておいしく頂きました。



【 新年明けましておめでとうございます 】

新年カルタ大会

一月七日(月)、新年カルタ大会が行なわれました。参加された入所者の方々は、童心に戻られたようでとても楽しんでいらつしやいました。



【 新年カルタ大会 】

ご家族のみな様へお願い

ご登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更または更新がある場合には、ご連絡のうえで提出ください。

まゆ玉作り

一月十五日(火)、毎年恒例の「まゆ玉作り」を行いました。昔の思い出を語り合いながら、赤、白、緑と色とりどりのまゆ玉が手際よく出来上がりました。こなしの木にさされたまゆ玉を部屋に飾り、みな様で一年の無病息災をお祈りしました。



【 綺麗なまゆ玉が出来ました 】

後援会入会の方々

- 座間千秋様
- 小尾 治様
- 桜井荘一様

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

ご芳情(一月一日～一月三十一日)

- ・レクボランティアほがらかグループ様
- ・レクボランティアゆずつこの会様
- ・北杜市 山鳩の会様
- ・北杜市 保坂 多枝子様
- ・北杜市 小野寺 毅様
- ・北杜市 中山 賢一様
- ・北杜市 小林 ゆき江様
- ・北杜市 二木 勝美様
- ・北杜市 小宮山 光彦様
- ・北杜市 日向 久幸様

利用者状況(二月末現在)

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十四名
デイサービスセンター	四十五名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	七名
第二仁生園	三十名

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340